

アブラナ科

オオユリワサビ

Eutrema okinosimense Taken.

兵庫県ランク… 調
環境省ランク… -

■ 県内分布

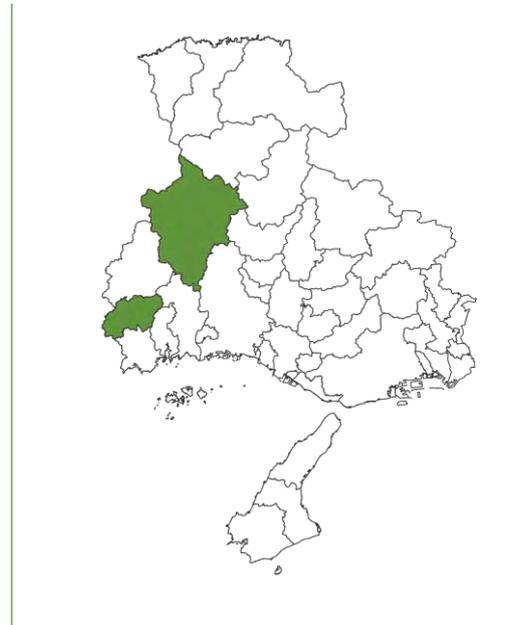
宍粟市、上郡町

■ 国内分布

北海道、本州(日本海側)、四国(徳島県)、九州(福岡県)

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	
		希少	○



■ 特記事項

標本および現地調査により、県内に分布していることが明らかとなった。2020年版での新規掲載種。



写真提供:松岡成久

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

ユリワサビに似るが、全体が大きく、花茎が花後に15-70cmに達する。花もユリワサビより大きい。葉は卵心形で色が淡く、開花結実後すぐに枯れ、肥厚して鱗茎状に集まった葉柄の基部のみが夏を越して晩秋に再び葉を出す。栄養繁殖し、大きな集団をつくることもある。